

# 指定管理業務点検・評価シート（令和5年度業務）

令和6年7月26日

施設名	とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館)	所在地	鳥取市尚徳町101-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

## 1 施設の概要

設置目的	県民の文化振興を図るため
設置年月日	平成5年10月1日
施設内容	○敷地面積：32,056.84㎡ ○建物面積：19,522.48㎡ ○施設内容：梨花ホール（最大2,000席）、小ホール（最大500席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1～第4練習室、展示室、第1～第8会議室、会議準備室、フリースペース
利用料金	
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第2、4、5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

## 2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤県民文化会館を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥県内全域を対象とする文化芸術の振興に関する業務
---------	---

## 3 施設の管理体制

(令和6年3月1日現在)

管理体制	正職員：25人、非常勤職員：3人、臨時的任用職員：2人〔計30人〕
	館長（正職員1）——— <ul style="list-style-type: none"> <li>— 総務部〔事務・施設利用〕 (正職員7、非常勤2、臨職1)</li> <li>— 企画制作部〔文化事業実施〕 (正職員9、非常勤1、臨職1)</li> <li>— 技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 (正職員9)</li> </ul>

## 4 施設の利用状況

利用者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5年度		17,155	13,627	14,734	18,874	16,741	18,640	16,675	24,590	13,554	10,740	10,075	21,534
4年度		12,359	14,732	12,667	16,404	15,348	3,880	13,936	28,979	10,538	9,197	10,612	22,611	171,263
増減		4,796	△1,105	2,067	2,470	1,393	14,760	2,739	△4,389	3,016	1,543	△537	△1,077	25,676

利用料金収入(千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5年度		21,478	4,369	3,318	3,831	5,456	3,833	4,938	4,910	2,859	3,052	2,228	3,848
4年度		13,856	3,787	6,283	4,508	5,430	4,132	4,317	6,108	4,475	2,985	3,730	3,656	63,267
増減		7,622	582	△2,965	△677	26	△299	621	△1,198	△1,616	67	△1,502	192	853

## 5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		5 年度	4 年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	64,120	63,267	853
		チケット・参加料収入	6,065	2,647	3,418
		小 計	70,185	65,914	4,271
	事業外収入	県委託料	280,138	283,638	△ 3,500
		手数料ほか収入	10,523	6,883	3,640
		小 計	290,661	290,521	140
計		360,846	356,435	4,411	
支出	人 件 費	128,707	122,722	5,985	
	管理運営費	189,508	194,013	△ 4,505	
	事 業 費	18,708	26,902	△ 8,194	
	計	336,923	343,637	△ 6,714	
収 支 差 額		23,923	12,798		

## 6 労働条件等

確認項目	状況				備考	
	常勤正職員	非常勤職員 (無期労働契 約)	非常勤職員 (事務・技 術)	臨時的任用職 員		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	・職員就業規則 ・労働条件通知書	・非常勤職員就業規則 ・労働条件通知書	左記に準じる	※書面の名称を記入	
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	—	※常時10人以上の労働者を起床 する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	・時間外労働・休日労働に関する協定書				※労働基準監督署長への届出が 必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8 時間				※幅がある場合は上限、下限を 記入
	時間管理の手法	勤怠管理システム				※タイムカード、ICカード、自己申 告、使用者の現認などの別を記 入
	休暇、休日の状況	・概ね4週間当たり8日間の週休日 ・国民の祝日に関する法律に規定する休日数(土曜日 と重複する日を除く) ・年末年始(12/29~1/3) ・年次有給休暇 ・その他の休暇 有給：病気休暇、 特別休暇、 子の看護休暇 無給：育児・介護 休暇、 海外随伴休暇	・年次有給休暇 ・その他の休暇 有給：特別休暇、 子の看護休 暇 無給：育児・介護 休暇	左記に準じる		※幅がある場合は上限、下限を 記入
給与	給与金額	311千円/月	198千円/月	—	156千円/月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	—	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	—	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年 1 回				
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：舞台技術室長より選任			※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全衛生推進者(衛生推進者)の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任			※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
利用促進	<p>[申込手続きの負担軽減] ○申込手続きを大幅に簡略化した施設予約サービスのオンライン申込について、登録促進をはかるための周知を継続的に行った。</p> <p>[利用実現へ向けたサポート] ○様々な利用形態で利用される主催者の相談に応じ、効率的・効果的な利用の提案など、イベント実現に向けたトータルサポートを行った。</p> <p>[利用者の利便性の向上] ○各施設内の利用に関する複数の案内掲示を集約し、ピクトグラムを活用することで、幅広い世代の利用者に分かりやすい案内表示を作成した。</p> <p>[施設設備の整備] ○照度不足の指摘を受けていた第1・2会議室の照明機器の更新及び利用者の安全に配慮した照明スイッチの位置変更を行った。</p>
施設周辺の活性化	<p>○施設の特性を活かしながら、誰もが芸術文化に親しむ環境を生み出していくため、小学生のいる家族を対象に「体験する」「学ぶ」「観る・聴く」を方針とした3事業を実施した。</p> <p>「アートSQUARE夢空間」では、「邦楽」「弦楽器」「打楽器」という複数ジャンルを1日で「観る・聴く」、「体験する」を味わえる内容で事業を実施した。「みんなのピアノ聴き弾きくらべコンサート」は、県民文化会館が保有している3種のグランドピアノを活用しそれぞれの特徴や魅力を感じる参加・体験型を実施し、専門家による説明に加えミニコンサートを行った。「とりぎん文化会館 ホール探検ツアー」は、普段見ることや立ち入ることの出来ない劇場の裏側の紹介や、実演芸術を支える実際の演出装置・機器などの操作体験を通じ、会館や舞台芸術を下支えする裏方スタッフの役割などについて広く紹介した。各企画の実施により、参加者の好奇心をより掻き立て、文化芸術に親しみと関心を持つ環境をつくるとともに、新たな鑑賞者・実践者の開発と増大に努めた。</p> <p>○レストラン管理運営事業者や図書館、公文書館と連携し、周辺の賑わいづくりに協議を重ね、レストラン施設内で絵本の貸出サービスやコンサートでの出前図書開催など施設の賑わいの創出に努めた。</p>
地域懇談会の開催	○地域で実施する文化芸術事業及び施設の運営・事業について意見を聴き、企画・運営に的確に活かすために地域懇談会を年2回開催した。
市・教育機関との連携協力	<p>○鳥取大学地域学部と会館の連携協力に関する覚書に基づいた大学生の授業として、また大学のダンス部員や演劇サークル、東部地区の高校演劇部に対して舞台技術研修会を開催し、会館に関心を持ってもらうことや舞台技術を理解して頂くことに努めた。また、岩美町公民館へ保守点検に関わる助言及び資料提供を行った。</p> <p>○市町村と協働して、鑑賞者の掘り起こしを行うとともに地域の文化芸術の発展と地域の活性化を図るため、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供した。令和5年度は八頭町、琴浦町、江府町と協働して実演芸術事業を実施した。開催市町村と振り返りを行うことで次年度以降の改善・継続へ繋げるとともに、新規開催市町村の開拓にも努めた。</p>

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設内にメッセージBOXを設置</li> <li>○施設利用報告書に利用者の意見を求める欄を追加</li> <li>○電話、ホームページ、Eメールによる意見等の受付</li> <li>○地域懇談会の設置・開催</li> <li>○外部評価委員からの意見徴収</li> <li>○県への「県民の声」による意見受付</li> </ul>
------------	--

利用者からの苦情・要望	対応状況
ティンパニのペダルが自然に浮いてくる。	業者の点検時に部品交換を行った。
ピアノの黒鍵の音が割れて聞こえる。	業者に点検を依頼し調整した。
お一人のマイクだけたびたび音声がとぎれることがありました。	職員が点検し改善した。
第2会議室の照明が少し暗い。	照明設備を更新した。
ゴミの処分をご相談できるとありがたい。	6年度実施に向けて業者への聴取及び調整を行った。
ピアノの鍵がまわしにくい。	業者に点検を依頼し復旧した。

## 利用者からの積極的な評価

(職員の対応) ※利用報告書アンケート結果「とても満足」または「満足」 事務職員99.7%、舞台職員99.2%  
○様々な急な要望に丁寧に対応してくれました。  
○いつも照明をステキにしてくださいます。(小ホール)  
○当日のピアノ配置について、アイデアを出していただいた。ありがたかったです。  
○音声機器の利用など丁寧にご案内いただいた。  
○荷物発送を快く引き受けていただいた。  
○受付の方の対応が親切でした。  
○掃除が行き届いて、いつも気持ちよく利用させていただいています。  
○備品等置いてあったので満足。  
○高校生に対しても、親切に接していただき、おかげ様でよい形で大会を迎えることができました。  
○いつ来ても、トイレ、部屋、廊下などキレイにしてあり、気持ちが良いです。  
○webでも対面でも手続きがスムーズ

(施設・設備) ※利用報告書アンケート結果「とても満足」または「満足」99.5%  
○防音でとても広く快適に練習できる。  
○レイアウトを含めて全体的に使いやすい。  
○会議室も広く、設備も整っており使いやすい。  
○お部屋を手頃な価格で借りられるのはありがたいです。  
○とっとり施設予約サービスから、予約、申込、支払まで便利でした。

## 9 指定管理者による自己点検

### 〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕

#### 【利用者目線の施設づくりと安心・安全・快適な施設管理】

○施設の運営にあたっては、利用者等の安全第一、公平公正を基本とし、利用者目線を心掛けたサービスの向上に努めた。  
○職員による施設管理点検作業及びヒヤリハット指摘事項を定期的に取り上げるとともに対策を行い、安心・安全な施設づくりに努めた。  
○県内3地域に文化芸術関係者等37名の委員から構成する地域懇談会の開催により、施設の運営並びに地域の文化芸術の振興を担うための財団のあり方等について意見交換を行い、財団実施事業の企画運営等に活かした。  
○鳥取大学地域学部の学生の授業、ダンス部員や演劇サークル、東部地区の高校演劇部に対して舞台技術研修会を開催するなど、会館に関心をもってもらうことや舞台技術を理解して頂くことに努めることで、舞台技術の普及と活性化を図った。

#### 【独自財源確保と地域貢献・寄付文化の醸成】

○令和3年度に設置した「パートナー企業制度」により、県内企業・団体等を訪問し、文化芸術をツールとした社会貢献への取組に繋げるとともに、自己資金の確保と寄付文化の醸成を目指した。  
○文化庁等の助成金を獲得し、引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る対策の強化を図るとともに、事業運営においては、内容の充実を図りながら良質な実演芸術の鑑賞等の機会を広く県民に提供し、鑑賞者や活動者の拡大へと繋げた。

#### 【効率的かつ効果的な施設運営】

○施設設備を適法に維持管理するため、必要に応じ専門的知識・技能を有する専門業者へ委託した。また、各設備等の保守点検等の業務委託は、業務一括複数年契約、倉吉未来中心との2館一括複数年契約を導入しており、定期的な2館の施設管理に関する情報共有を行うことで将来発生する不具合の予測や対策を行うことに努め、効率的な運営を行った。  
○施設設備の経年劣化が顕著となっており、故障の発生頻度が高くなったことに加え、既存機器部品の生産終了等により修理できない箇所が生じていることから、予防保全に重点を置き、中長期整備計画に沿って、優先度を決め県への改修等の要望、或いは会館で修繕をするなどの環境整備に取り組んだ。  
○人が触れる機会が多いドアノブ、手摺、エレベーター釦等は、感染症拡大防止のためアルコール消毒を行い、また、清掃作業の配分を利用状況に応じて柔軟に変更対応し、安心・安全に利用できるよう、引き続き感染症拡大防止対策の徹底に努めた。

○臨時休館を活用し、突発的に発生した不具合を先送りしないよう、安全面と経済面から判断して効率的な修繕(直営又は2次委託)を行うことにより、利用者への安全・安心をより一層担保出来るよう取り組んだ。  
○空調設備は、1日の催事内容を把握したうえで、きめ細やかなON/OFF、利用者への空気環境を十分維持しながら熱源余冷・余熱の活用、デマンド手動制御(不要機器の一時停止等)により電力量の抑制を行い、経費削減と省エネルギー化に取り組んだ。  
○梨花ホール棟において、利用状況に応じ必要箇所のみ点灯運用を行った。  
○施設の利用がないエリアの消灯、既存照明機器のLED化により、エネルギー使用量を削減する省エネルギー対策に努めるなど、光熱水費等の固定費の節減、施設運営の効率化に積極的に取り組んだ。  
○鳥取県環境管理システム(T E A S II種)の確認審査を受け、環境改善目標の計画的な実施により環境負荷の低減に努めたほか、地域の一員として道路管理者と協力し、ボランティアロード(国道53号線歩道)の清掃等の活動に取り組んだ。

### 【男女共同参画等の推進】

○鳥取県の「イクボス・ファミボス宣言」を行っており、長時間労働の削減、休暇制度等の積極活用等、男女が共に働きやすい職場環境づくりと、ワーク・ライフ・バランスの意識醸成に努めた。

○財団評議員及び理事の男女それぞれの比率を40%以上としており、経営サイドにおいても男女共同参画の推進に努めた。

### 〔文化芸術に関する各種の事業を推進することによる文化振興事業〕

鳥取という地域をステージに、アウトリーチを事業の基軸として、第一線で活躍するアーティストが会館に集い、会館から地域へ、そして、全国へ質の高い文化芸術を創造・発信し、アートとともに人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が絆を形成するための環境づくりを行った。事業実施にあたっては、目的と目標を明確化させ、段階的かつ重層的に事業を体系化（STAGE1～3）し、戦略的に実施した。

### ○STAGE1 出会いを生む文化芸術事業の展開

#### ■目的

県内市町村や文化芸術団体等とこれまで以上の連携協力のもと、これまであまり縁の薄かった方々にも新鮮で笑顔溢れる実演芸術を届けることを目的とした事業を展開する。

#### ■目標

- ・初めての实演芸術体験機会の創出を狙い、誰でもが鑑賞し、体験できる機会を設ける。
- ・若年層や家族が気軽に参加できる仕掛けを作る。

#### ■実施した事業とその実績

- ・実演芸術市町村連携事業 4町5公演
- ・とっどりの芸術宅配便 13校19回
- ・鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校） 7校7公演
- ・児童生徒を対象とした芸術文化事業 33校19公演

### ○STAGE2 彩を添える文化芸術事業の展開

#### ■目的

県内市町村や文化芸術団体等と綿密な連携のもと、心地よい文化芸術に触れることにより、ライフスタイルに彩と夢を届ける事業を展開する。

#### ■目標

- ・県民が多彩な実演芸術に触れ、魅力ある事業を体験できる機会と環境を整える。
- ・実演芸術をより楽しみ深めるためのアウトリーチ事業を行う。

#### ■実施した事業とその実績

実演芸術市町村連携事業（再掲）

- ・プロデュース公演 とっとりチェンバーオーケストラ事業 第4回弦楽アンサンブルコンサート及び室内楽セミナー
- ・プロデュース公演 U-18シアタープロジェクトAct.3 （8年度公演準備）
- ・公益財団法人長谷育英奨学会 設立30周年記念 鳥取県立県民文化会館 開館30周年記念 MUSIC ENCOUNTER 木嶋真優ヴァイオリンコンサート×とっとりスーパープラス
- ・鳥取県青少年郷土芸能の祭典（とっとり郷土芸能まつり2023）

### ○STAGE3 感動を届ける文化芸術事業の展開

#### ■目的

基幹ホールの優れた機能とこれまで培ってきた財団の専門的ネットワーク及び技術のもと、鑑賞・参加される方々に高質な実演芸術を満たすことにより大きな感動を届ける。

#### ■目標

- ・県民を魅了する良質な舞台作品の鑑賞機会を提供します。
- ・次世代を担う若手芸術家・活動者との協働により高質な創造作品づくりを行う。

#### ■実施した事業とその実績

- ・プロデュース公演 新作バレエ「赤毛のアン」 （6年度公演準備）
- ・プロデュース公演 とっとりチェンバーオーケストラ事業（再掲）
- ・公益財団法人長谷育英奨学会 設立30周年記念 鳥取県立県民文化会館 開館30周年記念 MUSIC ENCOUNTER 木嶋真優ヴァイオリンコンサート×とっとりスーパープラス（再掲）
- ・鑑賞型事業 9公演及び関連事業4事業
- ・特別共催事業 マスコミ共催2公演、一般共催8公演

### ○鳥取県立県民文化会館の特色を活かした事業

豊かで特色のある県民文化の育成と振興に寄与する場として活用するため、図書館、公文書館等関係施設と連携した管理運営・事業を行うとともに、財団独自に各種文化芸術事業を行い、指定管理を受けている施設の賑わいの創出に努めた。

- ・地域の賑わい創出事業 4事業6公演 / 教育機関連携事業 2事業

〔現在、苦慮している事項〕 〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

○利用率向上について  
 ・コロナ禍で活動を自粛した活動者の催事や、WEB会議の普及により会場を借りて参集する小規模な会議等の利用減少がみられる。利用率向上に向け、各施設の利用形態がイメージできる情報をSNS等で発信して新規利用者の獲得を図るとともに、定期利用の増加に繋げるため、新たなサービスの導入・改善、ご意見・ご要望への対応などを行う。

○利用者の利便性の向上について  
 ・会議室の机やイス、フリーパネルの経年劣化に伴い維持管理に苦慮している。

○「県民に愛され、誇りとなる劇場造り」を目指す人創り  
 「とりぎん文化会館があつてよかった」「誇りに思う」と県民に思われる劇場を目指し、実演芸術を鑑賞することのみならず、参加・体験などを盛り込んだ多彩なプログラムの企画や創造的な公演の制作を行っている。これを継続的に実施するには、専門人材の育成が不可欠である。人材育成は長期的に取り組むことが重要であり、指定管理期間を含めて10年先を見据えた専門人材の育成計画が必要である。

○拠点機能の強化  
 近年では、普段実演芸術に触れる機会の少ない市民や子どもたちに対して、アウトリーチ事業を「市町村連携事業」「芸術鑑賞教室」等により積極的に実施してきた。今後も市町村、学校などとの連携を強めつつ、アウトリーチ事業で培ったネットワーク・ノウハウを活かし、良質な公演を求めて県民文化会館に足を運ぶような仕掛け・仕組みを構築し、県内の文化発信拠点としての機能をさらに高める必要がある。

○アートの社会的効用の発揮  
 学校・教育委員会と協働のもと学校等へ出向き実演芸術の鑑賞・体験事業を行ってきた。今後、福祉、観光、経済など様々な分野の地域課題解決に向けても具体的なアプローチが必要である。さらにこれらの実現に向けては、関係団体との連携強化が不可欠である。

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○施設のシステム全般について精通しており、予想される不具合についても迅速に対策を行っており、適切な保守管理が実施されている。 ○ボランティアロード(国道沿い)の清掃等にも積極的に取り組み、建物周囲の美化に努めている。 ○中長期保全計画の内容に従い、所管課に対し適切に施設修繕に係る予算要求の提案を行っている。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○適切に実施されている。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○利用者のニーズに沿った、丁寧な対応を行っており、利用者からの評価が高い。 ○催事等における備品の利用方法などのアドバイスなど行い、顧客満足度の向上を図りつつ、施設の適切な利用を促進している。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○利用者アンケートや地域懇談会などを通じて得たニーズや情報から、施設の利便性向上に向けて積極的に取り組んでいる。 ○施設の内装・レイアウト変更等を積極的に行い、利用者がより利用しやすいように務めている。

<p>〔文化事業の実施状況〕 ○実施内容</p>	<p>4</p>	<p>○地域の賑わい創出事業 アートSQUARE夢空間スペシャル みんなのピアノ聴き弾き比べコンサート等 ○教育機関連携事業 東部地区高校演劇関係者、大学生を対象とした舞台芸術研修会を実施 ○プロデュース公演 とっとりチェンバーオーケストラ 新作バレエ「赤毛のアン」オーディション等 ○実演芸術市町村連携事業 江府町町政70周年記念コンサート 八東体育文化センター地域共生にじいろフェスタ等 【その他：舞台技術の支援を行う為に行った事業】 ○公共施設関係 公民館のホール設備の技術職員への保守点検実施に係る助言及び資料提供等。 ○活動者関係 鳥取市内のダンスサークルに所属する技術担当への公演に関わる舞台技術全般についての助言。 鳥取市内の舞台芸術活動を行う演劇活動者に対する舞台技術研修会の開催。</p>
<p>〔収入支出の状況〕</p>	<p>3</p>	<p>○利用料収入64,120千円は前年度より増加(前年度:63,267千円)し事業計画額(61,965千円)を上回った。施設の老朽化に伴う維持修繕費や原油高騰の影響で管理運営費が増加する中で経費節減等に取り組み、安定的な収支決算で事業年度を終えた。 ○燃料等高騰の中、空調設備や照明設備などで必要に応じて部分運用を行うなど、積極的に経費節減と省エネルギー化に取り組み、施設運営の効率化に努めた。</p>
<p>〔職員の配置〕</p>	<p>3</p>	<p>協定の内容どおり事業が実施されており、適切に配置が行われている。</p>
<p>〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務(利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)</p>	<p>3</p>	<p>公益法人会計の適正処理に努めるとともに、健全な経営体制に向けた取組を実施した。</p>
<p>〔関係法令の遵守状況〕 ○関係法令に係る行政指導等の有無等 ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 ○県内発注(鳥取県産業振興条例)</p>	<p>3</p>	<p>○全職員を対象にコンプライアンス研修及び人権研修に取り組んでいる。 ○環境配慮への意識啓発をはじめ、施設周辺の清掃活動に取り組んでいる。</p>
<p>〔県の施策への協力〕 ○障がい者就労施設への発注</p>	<p>4</p>	<p>外部清掃業務の委託をはじめ、名刺印刷など、障がい者就労施設への発注を積極的に行っている。</p>
<p>総 括</p>	<p>3.5</p>	<p>施設利用に係る基本的な管理運営はもとより、積極的な文化芸術事業を展開し、文化芸術の振興拠点として施設の有効活用及び地域の文化振興に取り組んだ。</p>

《評価指標》5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。

3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。

1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。